



# Weekly Report Niigata



新潟 RC 5月第2例会 (2011.5.17) No.2896

## (1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

### (2) 樋熊 紀雄会長挨拶

皆様にご協力いただきました会員満足度調査アンケートの集計を本日メールボックスに入れておきましたのでご覧ください。

1. あなたが新潟RCに受け入れられているか、自分が他の会員と交流する努力をしていないのというご意見がございます。物怖じしているのでしょうか。
2. 新潟RCの組織について：不満、あまり活発ではない、何事にも当たり障りない意見が通る、前例主義である、イベントが多すぎるのではないかなどご意見がございます。否定的意見は、説明不足があるのでしょうか。そしてチェンジでしょうか。
3. ロータリー活動について。どの項目でも分らないというご意見が多数みられます。ロータリーとは何、その活動はどうあるべきかが理解不十分なののでしょうか。理解を深めるには、学びは、伝えることから、話題参加型にすることでしょうか。クラブの広報活動が不十分というご意見があります。特にHPに関する意見もございました。例会、イベントが広報に結びついていないのではということでしょうか。
4. ロータリークラブ活動に対する参加状況では、委員会の所属によって参加の仕方が変わることになりましょう。会員が二つの委員会に所属する方がファイヤーサイドミーティングの機会も増えて、活動の意義と理解が進むのではないかと。ただ、委員の数が多くなり、傍観者にならないよう工夫が必要でしょう。
5. クラブ活動、プロジェクトへの参加への満足度は、知識不足、情報不足、個人的に時間が不都合で参加できないなど。個々に時間調整の難しさを感じます。
6. 会員活動の費用は、クラブ会費、奉仕プロジェクトへの寄付、ロータリー財団への寄付、米山奨学会への寄付、義捐金・募金など過度であるというご意見がみられます。クラブ会費

以外は、I serve です。ご理解ください。

7. 毎週の例会については、参加する時間がない、義務的と感じている、夜例会が負担、気を使うことが多いなど積極的なご意見ありがとうございます。
8. 新潟RCの会合をより良くするために、より良い講演者、より多くの会員が活動する機会を増やす、親睦活動をより強調し、飲み会を増やす、プログラムのテーマを充実する、地域社会と交流する機会を増やすことなどに多数の同意見の方がいらっしゃいました。活性化のためには必要なことと思います。
9. ご家族のRCの理解度は、残念ながらロータリーのことをよく知らない／関心がないが多数です。今年度の目標で、家族の参加により理解と退会防止を掲げました。残念ながら説明不足であったように思います。反省しています。
10. その他、設問の趣旨、目的が理解できない、レーティングスケールの判断ができないなどがございました。これらいただいたご意見は次年度、短期、中期計画策定に参考になるご意見であり活かしてゆければと思います。ご協力ありがとうございました。

## (3) 新会員のご紹介

(株)損害保険ジャパン
新潟支店長
武田 博之君
親睦委員

このたび伝統と格式ある新潟ロータリークラブに入会させていただくことになりました、株式会社損害保険ジャパンの武田博之と申します。本年4月1日に新潟支店長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。出身は山形市で、1981年に損害保険ジャパン前身の安田火災に入社し、これまで東京、名古屋、横浜、広島、山形で勤務しました。家族は東京におり、単身赴任は7年目になります。

趣味は、ゴルフ、スポーツ等で身体を動かすこと、スポーツ観戦、読書などです。新潟は、風景、食事、人情、どれをとっても素晴らしいとお聞きしておりましたが、3月末に新潟に来てやすらぎ堤を歩いた際、その景色の美しさと雄大さに心から感動しました。食事もおいしくいただき、皆さんに厚いご支援をいただきながら仕事しております。この素晴らしい新潟で働けることに感謝しております。まだまだ若輩者ですが、どうぞよろしく願います。

(4) **米山奨学生 張 文婷さん紹介挨拶**

(小田等カウンセラーよりご紹介)

(5) **ロータリーの友紹介 (小田 等広報副委員長)**

(6) **会員スピーチ**

「東日本大震災の通信インフラ事情」

アイリテック(株)代表取締役社長 細野 義彦君

**5月24日の例会予定**

卓話「ふるさと新潟で・・・」

NHK 新潟放送局アナウンサー副部長 熊倉 悟氏